

唱歌遊戯

第九週

唱歌 二回

笹舟(小學唱歌七十一曲集)

眼がいたくなる様な強い日光の下で、元氣一ぱい遊んだ後に、木蔭で笹舟を水に浮かしてゐる時の子供達の今迄の遊びは又變つた靜止の中にひたむきになつてゐるその様子。こんな時の氣分で出来るだけ靜かにうたひ度い。

遊戯 二回

笹舟(記事参照)

やはり靜かな氣分でしたいものだ。

第十週

唱歌 二回

小川(小學唱歌集)

雨の多いこの月は、ミもすれば子供達は自分達の力の持つて行きどころがなくて困るこゝであらう。これを遊

戯や唱歌ばかりでさうかうするこゝは出来無いこゝだが、幾分でも靜かな落付いた時間も作つてやり度いものである。レコードをきくのもよいであらう、又元氣一ぱいうたふ歌ばかりでなく、この小川の様いきれいな曲をきく乍ら、靜かにうたはざるを得ない様なものも大いに必要である。

遊戯 二回

復習 室内で遊ぶこゝが多いから競技を多くして殊に男兒を存分に遊ばせるこゝよい。

第十一週

唱歌 二回

キングヨ(エホンシャウカ)

お部屋の鉢の中を泳いでゐる金魚を、じつミ穴のあく程いつまでも子供達はみてゐる、休みなく泳いでゐるこの金魚を見乍ら、話し合つたりした後でこの歌をうたふのもよい。

### 遊戯 二回

飛行機(土川氏律動遊戯参照)

## 第十二週

### 唱歌 二回

水兵さん(佐々木英曲集参照)

元氣な水兵さんの氣分が出てゐて、子供達はきつミ大よろこびである。これは元氣にうたひ度い唱歌だ。

### 遊戯 二回

お洗濯(記事参照)

この頃の子供になるご相當自分で創作するごいふ様な力が出て來はじめた時である。このお洗濯も、型にはめず各自の自由にさせる方がよい。

### 笹

舟 戸倉ハル氏振付  
小學唱歌七十一曲集

準備 圓形を作り中心に向ふ。

### ササブネ

中心に向つて屈み腰で三歩歩く、その時兩掌を體の前に揃へて上にむけ、そこに笹舟をのせて持つて行く。

### ウカシテ

掌のせてゐた舟を水にそつミ浮かす。

### アソビマセウ

拍手し乍ら後にさがり元の位置につく。

### コカゼニ

中心を向いたまゝ圓周に沿つて、右に横ばしりにこきざみに數歩行く。その時兩手は上へのばし風に吹かれる様に次第に右に傾ける。

### フカシテ

コカゼニと同じ動作を左に行ふ。

### ハシリマス

コカゼニフカシテと同じ動作を行ふ。

### スツス

圓周に沿つた方向に向き、圓周に沿つて體を前に屈めて

二歩歩く。この時両手は前にのぼし、掌を合はせ、肘を曲げたりのぼしたり二回行ふ。次のスッスーまで一呼間休む。

スッスー

前のスッスーと同じ。

ハシリマス

腰を出来るだけ屈め、こきざみに圓周に沿つて走る。この時上體ミ顔は圓の中心に向け、圓の内を走る舟を見ながら、兩手は圓の内側の方に持つて行つて拍手し乍ら走る。

ササブネナガシテアソビマセウ

ササブネウカシテアソビマセウと同じ。

メダカヲマカシテハシリマス

圓周に沿つてこきざみに走る。兩手は體の前に掌を下にして揃へ、肘を曲げ、次に肘をのぼし、手をすつこ前にのぼし、次は手を横にひろげる。この動作をくりかへし乍ら、即ち、メダカが泳ぐ様子をし乍ら走る。

スッスー スッスー ハシリマス

一番のスッスー……と同じ。

お洗濯 三浦ヒロ氏振付  
ゴドモノ遊ビ

準備 一列の圓形になる。

1 第一小節から第八小節まで。

洗濯物をかへて圓周の上を進み、第八小節目の終るミ共に中心の方を向く、そして洗濯物を下に置くと同時に佇む。

2 次の第八小節間。

曲に合はせて洗濯をはじめ、動作は自由に行ふ。

3 次の八小節間。

絞り上げる。曲に合はせて自由に行ふ。

4 次の八小節間。

洗濯物をほす動作をする。

5 次の八小節間。

洗濯物の乾く間休息する動作を行ふ。話し合つたり、あみものをしたり、本を讀んだり云ふ様に。

6 次の八小節間。

洗濯物の乾いたのをまりはずして入物に入れる。

7 次の八小節間。

# お洗濯

入物をかゝへて歸る。圓周に沿つて進む。

最後の小節の時人物を下に置く。

8 次の八小節間。

洗濯物をひろげて、アイロンをかける。

9 次の八小節間。

洗濯物をたゝむ。

10 次の八小節間。

抽斗を開けて洗濯物を入れても通りにする。

曲全體を五回りかへすことになり。一小節を二拍子にかぞへる。